

カレード通信 Vol.87

2025年
1月号

January

日	月	火	水	木	金	土
1月の陶芸教室はお休みです。			1	2	3	4
				年末年始休館 (12/29~1/3まで)		子
5	6	7	8	9	10	11
		赤				子
12	13	14	15	16	17	18
英 カレードシネマ		赤				子
19	20	21	22	23	24	25
子 料理教室		赤				子 カレードステージ
26	27	28	29	30	31	
子 かがく実験教室						

＊おはなし会情報＊

会場：おはなし会コーナー(パオ)
時間：10:30～11:00
参加無料・申込不要

赤 あかちゃんおはなし会
＊第1火曜日
＊第2火曜日(隔月開催)
＊第3火曜日

子 こどもおはなし会
＊毎週土曜日
＊第3日曜日
＊第4日曜日(隔月開催)

英 えいごのおはなし会
＊第2日曜日

図書館展示情報

児童展示 お正月のほん

お正月といえば、おせちりょうりやおもちを食べたり、カルタやコマであそんだり、たくさん楽しみがありますね。そこで、お正月を楽しむ本や今年のえと巳(へび)年にちなんで蛇がでてくる本を集めました。今年もたくさん本をよんでね!



このほか館内の様々な場所でも展示をしています。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色んな本と出会ってください♪

一般展示 snow snow snow

しんしんと降り続く夜の雪。陽光にキラキラ輝く雪片。雪はいくつもの表情を持っています。その結晶は一つとして同じものはありません。そんな冬の風物詩をテーマに様々な本を揃えました。静かに降り積もる雪のような心穏やかな時間を、お気に入りの1冊とともに過ごしてみれば。

YA展示 「妖しくも美しい世界」への招待

夢か現実か、空想的で不可思議な出来事。この世のものではない、異類異形のものたち。美しい言葉で綴られた艶麗耽美な作品を蒐集してみました。儚く秘密であふれた幻想世界をどうぞ堪能ください。

最新情報は
こちらから!

Twitter: 1X(旧Twitter)
Facebook: 1Facebook

1月 カレードイベント情報!

カレードシネマ
『種まく旅人 ～華蓮のかがやき～』

日時/1月12日(日)
開場: 13:00
開始: 13:30～16:00 ブックトーク、その後上映会
会場/研修室・会議室 定員/50名(当日先着順)
対象/どなたでも 時間/108分 製作/2020年

大阪の銀行で働く山田良一のもとに、故郷の金沢でれんこん農家を営む母から父が脳梗塞で倒れたとの知らせが届く。結婚を考えている恋人のこともあり、家業であるれんこん畑の仕事を引き継ぐか、売却するか決断できずにいる。それでも種まき・収穫など決められた時期に作業を行わなければならないため、戸惑いながらも父の代わりに畑に向かう。一方、れんこん農家の視察を行うため、農林水産省の神野恵子が金沢にやってくる。

カレードステージ VOL.1
「さんびきのこぶたと」

日時/1月25日(土)
①14:00～14:30
②16:00～16:30

出演/劇団羅針盤
会場/研修室・会議室 定員/各回50名
対象/0歳～小学生以下の子どもと保護者
参加費/無料
申し込み/カレードにご来館、もしくはお電話にてお申込みください(先着順)。

劇団羅針盤による、子ども向けのお芝居です。皆さんの知っている「3匹のこぶた」とは少し違ったお話に...!?ぜひお楽しみください!

12月 イベント報告

市民歴史講座 × 図書館上映会

12/14(土)、市民歴史講座 × 図書館上映会コラボイベント第3弾を開催しました。講座は『郷土の中の日露戦争』、上映作品は『明治天皇と日露大戦争』でした。講座の後に映画をみると、より理解が深まります。ご参加ありがとうございました!!

ブックスタートの活動が表彰されました!

野々市市では2003年からブックスタート(赤ちゃんに絵本を手渡す事業)が導入され、その趣旨に賛同したカレードサポーターの方々が20年にわたり活動をしてきました。この度その功績が認められ、石川県読書推進協議会から表彰を受けました。

これからも、親子が触れ合うきっかけとなる絵本と、地域の子育て情報を手渡していきます。

今月のおすすめ本

『国宝 上 青春篇』『国宝 下 花道篇』

著者: 吉田 修一 出版者: 朝日新聞出版 分類ラベル: F/33/1/2

正月の大雪の夜におこなわれた新年会の料亭で舞台を舞うのは、類稀なる美貌の立花組のひとり息子喜久雄と部屋住みの若い組員です。その晩の急襲により非業の死を遂げた親分である父の仇討ちに失敗した喜久雄が、長崎で上方歌舞伎役者に見染められ名門一座に引き取られると、その役者の一人息子と競うように歌舞伎の女形という芸の道を歩み始めます。梨園と極道という生い立ちの違う二人が生涯を賭けて人間国宝となるべく生き抜いていく壮大な物語です。その美しさと情熱に圧倒される青春篇、芸の極みに向かう花道篇と勢いで上下巻を読み耽ってしまいました。こちらは吉田修一氏の作家生活20周年記念作品であり、難しいと思われました映画化もされて今年公開予定となっております。読み応えたっぷりで小説好きの方にはおすすめの熱い大作です。

(スタッフI)